

クラスターの分析に関するヒアリング調査(都道府県・保健所)等の結果と今後に向けた検討(概要)

第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会提出(10月23日)

【背景】第10回分科会(9月25日)において、政府に対する以下の提言あり。

「更に詳細なクラスター分析を行って、その結果を早急に示して頂きたい。」

【目的】「7つの場面」の検証やその精緻化。

【方法】12の自治体に対するTV会議方式によるヒアリング調査(10月15日・同16日・同21日に実施)。

「7つの場面」についての主なご意見

- ・「7つの場面」は概ね妥当。
- ・場面や場所の切り替えの時には感染リスクが高くなる(休憩時間のおしゃべりや更衣室、喫煙室等)。
- ・特に喫煙室は盲点(密集した空間でマスクを外し、知り合いとおしゃべりするため高リスク。)
- ・会食では斜め向かいの席に座ると感染リスクは低いという事例あり。
- ・会食での異なるテーブル間での感染は、利用客がテーブルを回るなど、特殊な状況で見られた。
- ・業種別ガイドラインを遵守している飲食店では、利用客への感染リスクは低いという事例あり。
- ・別途、介護現場での感染リスクを高める場面を示すことも必要。

「7つの場面」とは? : 第10回分科会で示された感染リスクを高めやすい場面

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① 飲酒を伴う懇親会 | ⑤ 集団生活 |
| ② 大人数や深夜におよぶ飲食 | ⑥ 激しい呼吸を伴う運動 |
| ③ 大人数やマスクなしでの会話 | ⑦ 屋外での活動の前後 |
| ④ 仕事後や休憩時間 | |